様式第２号（第３条関係）

審議会会議録

<table>
<tr><td>会 議 名 称</td><td colspan="3">令和６年度 第９期伊達市市民参加推進会議（第１回）</td></tr>
<tr><td>議　　題</td><td colspan="3">議事（１）令和５年度市民参加の実施結果について
（２）令和６年度市民参加の実施予定について
（３）第９期中間報告について（意見交換）</td></tr>
<tr><td>開 催 日 時</td><td colspan="3">令和６年６月５日(水)　午後１時30分～午後３時00分</td></tr>
<tr><td>場　　所</td><td colspan="3">伊達市役所本庁舎２階　会議室Ａ</td></tr>
<tr><td rowspan="2">出 席 委 員</td><td colspan="3">永井　真也　会長、宮澤　豊　副会長、山城　一郎　委員、
谷口　繁　委員、四戸　幸穂　委員、荒井　秀樹　委員、
千葉　慎太郎　委員、早坂　真　委員、大岩　真由美　委員（計９名）
※欠席１名</td></tr>
<tr><td>所管部課名</td><td colspan="2">企画財政部企画課</td></tr>
<tr><td rowspan="2">公開・非公開の別</td><td>■公　開</td><td>傍聴者人数</td><td>なし</td></tr>
<tr><td>□非公開</td><td>非公開の理由</td><td></td></tr>
</table>

【審議会の概要】

１．開会（事務局：企画課長）

【以降、会長による議事進行】

２．議事　※議事については、資料に基づき事務局から説明

【質疑・意見交換】

□委員
パブリックコメントについて、意見が出ていないものもあるが０件でも問題ではないのか。内容がかなり専門的なものもあるので、立ち入れない部分もあるかと思う。

■事務局
今回も、図書館に関するものは提出意見数が多いが、福祉関係の計画では０件のものが多い。特に、福祉関係の計画に関していうと、日頃から実際に制度を使われている方が、ご高齢であったり、障がいをお持ちであったりと、紙による意見提出が難しいことが想定される。窓口での手続きの際に直接お話を聞くなど、パブリックコメントという枠組み以外で、意見を聞くことができていることも考えられるため、０件だから問題ということではないと考えている。

□委員
パブリックコメントの提出人数について、興味関心がないのか、あるいは全く意見がないというポジティブなものなのかが見えてこない。説明してから意見をもらうことができれば、より意見を吸い上げやすくなると思う。

□委員
他の自治体では、パブリックコメントを出してみようといった取り組みをやっているところもあると聞く。わからないから出していないという方もいるかもしれないので、今後実施の際は、ご検討いただければと思う。

□会長
また、福祉関係に関しては、通院など日々の生活だけで精一杯で、市に対して意見を提出しようというところまでエネルギーを割けないという事情もあるかと思う。
個人の状況によるものもあるため、提出意見が０件だったという結果ではなく理由について考えると、他のパブリックコメントを実施する際に活かせるものもあるかと思う。

□委員
パブリックコメントを実施するかはどのように決められるのか。

■事務局
闇雲に実施しているわけではなく、市民参加条例に基づき実施している。
主に、総合計画など市の基本構想を定めるほか計画策定の場合や公共施設の設置の際に、広く市民の意見を聞くため実施するが、政策判断の要しない簡易的なものや法律の規定で実施するものなどは市民参加を行わないことが可能である。

□委員
知らないうちに決まっているという風になると少し怖いなと感じる。
後から、実施していたと知るなど順番が前後することの無いよう、意見を求める際の工夫が必要になると思う。

□委員
普段生活している中で、パブリックコメントを目にする機会がなかなか無い。
また、専門的なものだと、一般の人が意見を言うのは難しいこともあると思う。
今後実施する際に、個人にだけ投げかけるのではなく、企業や団体などへの周知を行えば、より多くの意見を拾うことができるのではないかと思う。

□会長
個人だと、なかなかパブリックコメントの制度までたどり着かないということもあるので、団体に向けて周知することも一つの手かと思う。
市の情報が発信できるような掲示板は、市内のどれくらいあるのか。

■事務局
掲示板はあるが、他のイベントチラシやポスター等も多く飾られているような状況。
このため、パブリックコメント実施時は、庁舎正面玄関にコーナーを設けているほか、体育館やコミセンなどの市内公共施設でも周知を行っている。

□委員
パブリックコメントという言葉自体も知られていないと思うため、「市民の声を聞かせてください」といったような、誰にでもわかるような表現を使った方がより浸透していくと思う。

□委員
審議会についても、話し合う内容や会議の開催時間が見えにくいため、参加するか迷ってしまうこともあると思う。募集の際に、具体的に周知するなど工夫が必要かと思う。

□会長
例えば、１～２分程度のもので良いので、会議の様子などを動画で見ることができるようにするとわかりやすいかと思う。市民参加に限らず、Ｚ世代と呼ばれる若い世代に参加してもらうためには、誰でも簡単にイメージができるような周知をすると効果的である。

□委員
周知方法を工夫してもすぐに件数が増加するということは見込めないかと思う。
難しい部分もあるかと思うが、手続きの待ち時間に意見の提出ができるようにすれば、意見を出してもらえることもあるかと思う。

□委員
令和５年度は、高校生も初めて委員として審議会に参加しているとのことだが、どのような様子かは把握されているか。

■事務局
大人の中に高校生が参加するというのはハードルが高いように思っていたが、意見を言えるような雰囲気づくりをされているなど、スムーズに進められているとは聞いている。

□委員
パブリックコメントについては、提出した意見が実際に市政にどう反映されているかが見えにくいことも、提出意見が少ない理由の１つにあるかと思う。

□会長
制度を利用していない、自分に関係するものでなければ、なかなか意見を書いて出すという行動まではとらないと思う。これまで提出された意見にも、自分の置かれてる状況を改善したいという想いで書かれているようなものが多く見受けられた。
５段階評価の中からクリックするだけで回答できるなど、参加のハードルは下げられると考える。

□委員
パブリックコメントとして募集している内容と関係のない意見が提出された時の対応について、今から話しあっておくと良いという意見が前回の会議で出されていた。
今後、総合計画の策定など膨大な量の意見が出された際に、そのような意見を未然に防ぐような工夫ができると良いと思う。

□会長
提出された意見がイレギュラーかどうかを判断するのはとても難しい。
なるべく事前にワークショップを開催して広く意見を聞き、イレギュラーな意見について参加者全体で話し合うことがすれば、パブリックコメント実施時にそういった意見が減ることは考えられる。

□委員
どんなに工夫して発信しても、市民の方が本当に自分のまちを良くしたいとか、まちのことをどこまで自分ごとに思うかどうかが重要ではないかと思う。

□会長
言葉の硬さというか、イメージを払拭する工夫も必要だと思う。

□副会長
市民参加という言葉自体が、市民の方からするとあまりピンとこないことはあると思う。
また、この会議についても、本日もいろいろ意見が出ていたように、市民参加そのものについて、もっといろんな意見を言えるような組織に変えていく必要があると思う。
市民参加といっても、パブコメや審議会だけではなく色んな形があり、例えば、タウンミーティングなど自治会単位で集まって話をし、意見を吸い上げるという形は非常に効果的だと考える。パブリックコメントだとやはり限界はあるように感じている。

□委員
現在の大滝区が村だった時には、毎年春に行政懇談会というものが開かれていた。
実際に集まると熱があるので、そこでの意見交換はたとえ解決しなくても、市民の方も言いたいことが言えてよかったという気持ちで終わる。
今後、できるのであれば是非そういう機会を作ってもらえると、市民参加の形としては、とても良いかと思う。

□会長
本日出された意見を参考にしながら、私の方で中間報告書案を作成する。
案が出来次第、委員の皆さんに意見をお聞きするので、よろしくお願いしたい。

閉　会

第９期　伊達市市民参加推進会議（令和６年度第１回）

■ 日　時　令和６年６月５日(水)
　　午後１時 30 分から
■ 場　所　伊達市役所 本庁舎２階 会議室Ａ

■会議次第

１　開　会

２　議　事

(1) 令和５年度市民参加の実施結果について　**資料１**
(2) 令和６年度市民参加の実施予定について　**資料２**
(3) 第９期中間報告について（意見交換）　**資料３**

３　閉　会

第９期　伊達市市民参加推進会議委員

任期２年：令和５年７月２日～令和７年７月１日

新規・再任	氏名	委員区分
再（2期）	ナガイ 永井　シンヤ 真也	学識委員 室蘭工業大学准教授
再（3期）	ミヤザワ 宮澤　ユタカ 豊	団体推薦者 伊達市連合自治会協議会推薦
新	タニグチ 谷口　シゲル 繁	団体推薦者 伊達市連合自治会協議会推薦
再（3期）	タケムラ 竹村　ユキオ 幸雄	公募市民 人材バンク
再（2期）	シノヘ 四戸　サチホ 幸穂	公募市民 人材バンク
再（2期）	ヤマシロ 山城　イチロウ 一郎	公募市民
新	オオイワ 大岩　マユミ 真由美	公募市民
新	アライ 荒井　ヒデキ 秀樹	公募市民
新	チバ 千葉　シンタロウ 慎太郎	公募市民
新	ハヤサカ 早坂　マコト 真	公募市民 人材バンク

令和５年度市民参加の実施結果について

１　令和５年度に実施された市民参加

令和5年度は、右表のとおり市民参加が実施されました。
実施内容の詳細について、資料1別紙にてご確認ください。

■パブコメについて
健康福祉部所管の各種計画の見直しや図書館整備に係る意見募集、地球温暖化対策の推進に関する意見募集が実施されました。

■審議会について
総務課が担当している庁舎整備検討委員会には、高校生にも委員として出席頂いています。

市民参加の方法	実施件数
パブリックコメント	８件
審議会	70件
説明会	１件
アンケート	２件
ワークショップ	０件

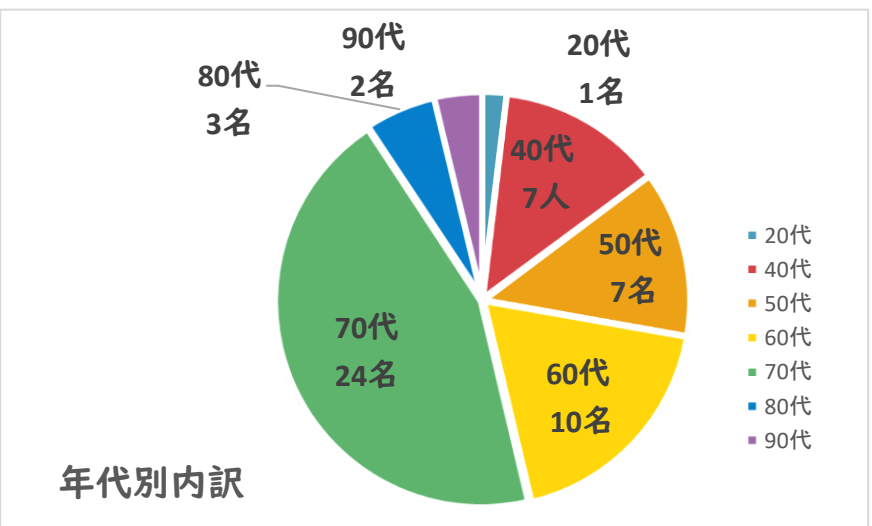
２　まちづくり人材登録の活用実績

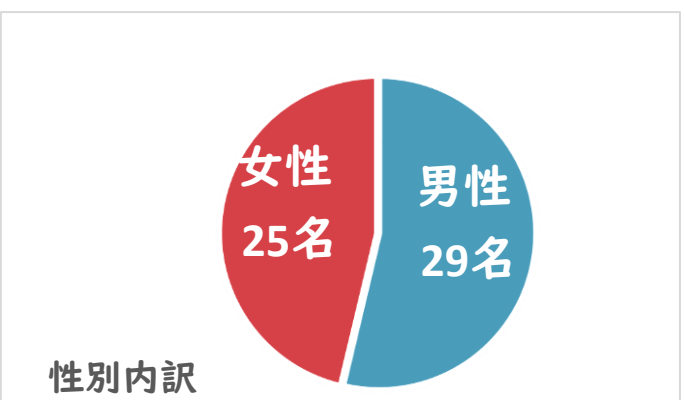
【年度別登録状況】

年度	年度当初登録者数	新規登録者数	審議会等登用者数	１人あたり最大審議会数
令和元年度	69	4	28	4
令和２年度	70	0	28	3
令和３年度	65	1	27	3
令和４年度	58	3	25	4
令和５年度	54	4	26	4

【令和５年度末時点での登録状況（内訳）】

計　54名の方に
ご登録いただいています。





■まちづくり人材バンクについて
令和5年度は、新たに4名の方に新規登録いただきました。（そのうち1名は、20代の方）
若い方も含め、幅広い方からの意見を取り入れることができるよう、市民参加と合わせて周知を行っていきたいと考えています。

令和５年度に実施された市民参加一覧

■　市民意見の募集（パブリックコメント）

案件名	実施期間	意見件数（人数）	担当課
伊達市立図書館整備基本構想（案）について	令和５年12月８日～令和６年１月10日	24件（10人）	図書館
高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第9期計画）案について	令和６年1月17日～令和６年２月５日	０件（０人）	高齢福祉課
第4期伊達市障がい者計画（案）について	令和６年1月17日～令和６年２月15日	４件（３人）	社会福祉課
第７期伊達市障がい者福祉計画（案）について		０件（０人）	
第5期伊達市地域福祉計画（案）について		０件（０人）	
第３期国民健康保険データヘルス計画・第4期伊達市特定健康診査等実施計画（案）について		０件（０人）	保険医療課
健康増進計画第3次健康づくり伊達21（案）について		19件（3人）	健康推進課
伊達市地球温暖化対策実行計画（区画施策編）案について	令和６年３月21日～令和６年４月19日	１件（１人）	環境衛生課

【意見の内訳】

反映	10件
既登載	4件
その他	34件
合計	48件

反映：意見の全て、または一部を案に反映するもの

既登載：既に案に盛り込んでいるもの

その他：その他の意見・今後の参考として伺ったもの

■　説明会・アンケート

【説明会】

案件名	実施日	会場	参加人数	担当課
伊達市立図書館整備基本構想（案）について	令和5年12月15日	だて歴史の杜カルチャーセンター２階視聴覚室	25人	図書館

【アンケート】

アンケート名	実施日	配付数	回収数	回収率	担当課
第４期伊達市障がい者計画策定に係るアンケート（個人）	令和5年8月7日～8月31日	1,300票	593票	45.6%	社会福祉課
第４期伊達市障がい者計画策定に係るアンケート（団体）	令和5年8月7日～8月31日	15票	11票	73.3%	社会福祉課

■　審議会

審議会名	会議回数	審議会の構成 公募委員／総数	男：女	人材バンク 登録人数	担当課
市民参加推進会議	3回	6人／10人	8：2	3人	企画財政課
地域公共交通活性化協議会	1回	0人／22人	22：0	2人	企画財政課
男女共同参画推進市民会議	1回	5人／12人	5：7	5人	企画財政課
庁舎整備検討委員会	2回	1人／8人	11：3	1人	総務課
表彰審議会	1回	0人／8人	7：1	0人	総務課
市史編さん委員会	2回	2人／6人	5：1	0人	総務課
行政不服及び情報公開・個人情報保護審査会	1回	1人／5人	4：1	0人	職員法制課
第５期伊達市地域福祉計画策定委員会	3回	3人／12人	11：1	0人	社会福祉課
第４期伊達市障がい者計画策定委員会	3回	3人／14人	12：2	0人	社会福祉課
子ども・子育て会議	1回	1人／10人	7；3	1人	子育て支援課
福祉有償運送運営協議会	1回	1人／9人	9：0	0人	高齢福祉課
介護保険等運営協議会	4回	1人／10人	7；3	1人	高齢福祉課
国民健康保険運営協議会	3回	3人／9人	9：0	2人	保険医療課
健康づくり推進協議会	2回	1人／15人	11：4	2人	健康推進課
換地委員会（長和地区）	1回	0人／8人	8：0	0人	農地整備課
換地委員会（関内西地区）	1回	0人／8人	8：0	0人	農地整備課
換地委員会（大平地区）	1回	0人／8人	8：0	0人	農地整備課
再生可能エネルギー導入戦略検討委員会	1回	4人／15人	14：1	3人	環境衛生課
環境審議会	2回	3人／12人	11：1	2人	環境衛生課
都市計画マスタープラン市民会議	1回	4人／14人	11：3	4人	都市住宅課
上下水道事業経営審議会	1回	8人／10人	5：5	4人	上下水道課
大滝区地域協議会	1回	3人／10人	9：1	1人	地域振興課
図書館整備検討委員会	4回	8人／16人	6：10	4人	図書館
図書館運営協力会	3回	4人／10人	5：5	3人	図書館

※担当課の名称は、令和５年度時点のものです。

令和６年度の市民参加実施予定

■　市民意見の募集（パブリックコメント）

案件名	実施期間	担当課
伊達市及び有珠郡大滝村の廃置分合に伴う地域自治区の設置に関する協議により定められた事項を変更する条例の制定（案）について	令和６年８月	地域振興課
伊達市公営住宅等長寿命化計画（案）について	令和６年10月	都市住宅課
第３期伊達市子ども・子育て支援事業計画（案）について	令和６年12月	子育て支援課
第3次伊達すこやか親子21（案）について	令和７年1月～２月	健康推進課
伊達市下水道事業経営戦略の改定（案）について	令和７年1月～２月	上下水道課

■　審議会

審　議　会　名	担　当　課
市民参加推進会議、男女共同参画推進市民会議	企画課
表彰審議会、行政改革推進委員会、市史編さん委員会、庁舎整備検討委員会	総務課
行政不服及び情報公開・個人情報保護審査会	職員法制課
子ども・子育て会議	子育て支援課
福祉有償運送運営協議会、介護保険等運営協議会	高齢福祉課
国民健康保険運営協議会	保険医療課
健康づくり推進協議会、第3次伊達すこやか親子21策定委員会	健康推進課
換地委員会	農地整備課
環境審議会、廃棄物減量等推進審議会	環境衛生課
都市計画審議会、市営住宅審議会	都市住宅課
上下水道事業経営審議会	上下水道課
大滝区地域協議会、ケーブルテレビ放送番組審議会	大滝総合支所
社会教育委員会議、文化財審議会	生涯学習課
図書館運営協力会	図書館

■　説明会・アンケート

案　　件　　名	実　施　時　期	担　当　課
伊達市公園ワークショップ	令和６年６月～令和６年12月	上下水道課

第9期中間報告について

1　中間報告について

市民参加推進会議では、任期1年目に「中間報告」、2年目（任期の最後）に「意見書」「まとめ」のいずれかを作成し、市民に公表するなど活動状況の報告を行っている。

2　中間報告書提出までのスケジュール

前回提出時のスケジュールを参考に、下記の内容での実施を検討しています。
※あくまで例ですので、審議状況等により委員の皆さんとの調整のうえ決定する予定です。

①	**令和6年6月5日（水）　※本日**	**第9期市民参加推進会議（令和6年度第1回）** …令和5年度市民参加実施結果について【報告】 令和6年度に実施予定について【報告】 第9期中間報告（案）について【審議】
②	**令和6年 6 月中旬**	**第9期市民参加推進会議（令和6年度第2回）** …第9期中間報告の提出について【審議】

3　第８期意見書（令和3・4年度）で提出された主な内容

①多くの市民が意見をだしやすい環境が整備されつつある

…説明会やアンケート、ワークショップなど多様な市民参加の手法の実施により、多くの市民が意見を出しやすい環境が整備されつつある。

②市民参加に対する理解を深めるための職員研修の継続実施

…職員研修の実施により、部署を越えた連携によるワークショップの実施など、市職員に市民参加が浸透してきていると感じている。

③若い世代・多くの市民が参加しやすい市民参加制度の構築が必要

…若い世代も含め、新しい人材の市民参加を推進するためにも、幅広い情報発信とともに市民と市をつなぐ役割を担う人材活用のほか、多くの市民が参加しやすい市民参加制度の構築を行っていく必要がある。

※参考　これまでの主な意見・指摘事項

■第1期（平成 19・20 年度）

・パブリックコメントの回答に冷たい印象を一部受けた。丁寧な回答をお願いしたい。

・人材バンク登録者が少なく、広報などだけでなく地道な PR をしていく必要がある。

■第2期（平成 21・22 年度）

・「何を市民参加の対象とすべきか」についての議論を深め、対象とすべき政策を事前に明確化し、適切なスケジュール管理のもとで着実な実行をお願いしたい。

・審議会の答申前にパブリックコメントを実施すべきである。

・市民による政策提案、人材バンクの活性化にも、一層の尽力をお願いしたい。

・市民参加を実施する際の公表や資料については、市民にとってより見えやすくわかりやすい工夫をお願いしたい。

■第3期（平成 23・24 年度）

・実施予定と実績の件数に差異がある。

・市ホームページのリニューアルにあたり、見やすさをよくするなど常に分かりやすい対応を心がけてほしい。

・政策提案を受けた際の検討方法、公表方法、回答後のフォローアップについて、今後 さらなる工夫が必要

・審議会の委員公募の際に、年度によって、広報誌を通じた公募が行われたり、人材バンク登録者からの登用にとどまったりと、方法が一致していない。

■第4期（平成 25・26 年度）

・提出意見が少ない傾向が依然見受けられ、関係団体に集中的に周知を行うなど、意見募集時の周知・公表については配慮・工夫を考えていく必要がある。

・パブリックコメント以外の市民参加の方法（説明会等）を活用することにも目を向け、行政に対する意見を広く反映させるための尽力をお願いしたい。

・市民政策提案は第4期の活動期間中における提案はなかったが、今後政策提案があった際は、前回の提案での対応を十分検証された上での対応をお願いしたい。

■第5期（平成 27・28 年度）

・市職員対象に行われている「市民参加条例研修会」を継続して実施し、より広く市民の意見を吸い上げることができるよう市民参加制度の更なる浸透に努めることを期待する。

・若い世代に人材バンクのPRをしながら、審議会への参加や経験を積んでもらい、10 代など早い段階からまちづくりに関心をもってもらえる意識付けを考えていく必要がある。

・提出意見が少ない傾向が依然見受けられるため、要望によって関係団体への周知や制度の説明を行う必要がある。

■第6期（平成 29・30 年度）

・市民参加条例が職員に浸透してきている。今後も継続しさらなる浸透に努めることを期待。

・幅広い世代の市民参加に向けて、これまでの HP やフェイスブック、FM ラジオでの情報発信を評価する。今後は市民参加がしやすい環境づくりのため、会議の進行役となるファシリテーターの育成を行うなど、市民参加制度の認知度や満足度向上のため一層の周知・啓発をお願いしたい。

・パブリックコメントは丁寧できめ細やかな対応が行われている。今後継続し、形式化しないよう取組を続けてほしい。

■第7期（令和元・2年度）

・説明会やアンケート、ワークショップなど多様な市民参加の手法の実施により、若い世代や女性など幅広い世代の市民が意見を出しやすい環境が整備されてきている。今後も様々な手法を組み合わせながら取組を進めていく必要がある。

・市職員の中に市民参加に対する意識の差が生じていることが見受けられたので、研修会を通じて市民参加への意識の高揚を図ってもらいたい。

・パブリックコメントは丁寧できめ細やかな対応が行われている。今後継続し、形式化しないよう取組を続けてほしい。

【これまで改善をおこなってきた点】

（周知方法の改善）

・パブリックコメントコーナーの設置

・広報だて表紙へのお知らせ掲載

・まちづくり人材バンクを広報・HPにて再周知・facebook にて周知

・まちづくり人材バンクポスターを市内事業所等に設置及び回覧依頼

（市民参加に対する庁内での意識統一）

・庁内研修会の開催・参加対象の拡大

・推進会議意見の庁内周知

（実施方法の改善）

・市民参加の実施、不実施等について事前協議制のルール化

・意見の取り扱い状況の明確化

・パブリックコメントの書式の統一化

・概要版の作成

・審議会委員の公募方法の統一

（市民参加しやすい環境づくり）

・パブリックコメントに対する丁寧な対応